



編集・発行 北海道立生涯学習推進センター

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階

電話 011-204-5781 FAX 011-261-7431

E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp

ホームページアドレス <https://manabi.pref.hokkaido.jp/>

◇◇平成28年度 課題対応型学習活性化セミナー終了◇◇

＜研修テーマ＞ 「学んだ成果を活用する仕組みの構築」
～高齢者が活躍するコミュニティ・ビジネスを考える～

平成28年9月1日（木）～2日（金）に、道民活動センタービル（かでる2・7）を会場に、「平成28年度課題対応型学習活性化セミナー」を開催しました。道内の市町村教育委員会担当職員、社会教育関連施設職員、生涯学習・社会教育関係団体職員、生涯学習の実践者など43名が参加し、人口減少や少子高齢化などの現代的な課題の解決に向け、高齢者の学びとコミュニティの在り方について、コミュニティ・ビジネスの手法を用いたアプローチを中心に研修を深めました。本号では、研修の各プログラムのポイントを御紹介します。

講義：「コミュニティ・ビジネスによる地域の元気づくり」～高齢者の社会参加

地域社会を豊かにする

コミュニティ・ビジネスとは

- ・必ずしも利益が第1ではない
- ・ビジネスとボランティアの中間的な働き方
- ・ビジネスを取り入れ継続性を持たせる
- ・意識的に支える人々をつくる

コミュニティ・ビジネスの目的

- ・コミュニティを元気にする
- ・生活の質を上げる

クラウドファンディングを活用した事例

- ・映画館の再生（埼玉県：川越スカラ座）
- ・中古の醸成装置を購入しワイナリーを開業（栃木県：ココファームワイナリー）
- ・コミュニティレストランの開業（茨城県：茨城NPOセンター）

細内 信孝 氏

(有)コミュニティビジネス総合研究所

代表取締役所長

支える人をつくるのが大切

期待される

コミュニティ・ビジネスの効果

- ・人間性の回復
- ・社会問題の解決
- ・生活文化（地域資源）の継承・創造
- ・経済的基盤の確立

コミュニティの自立

地域の仕事おこし

チェックポイント

- ・地域の資源を活用しての起業か
- ・個々の「自分おこし」になっているか
- ・地域の雇用づくりに寄与しているか
- ・地域の問題解決に寄与しているか
- ・地域で新しい社会関係や協働関係を生み出しているか
- ・上げた利益は事業目的に再投資するか地域に還元しているか
- ・経営状況を開示しているか

資源を発見するコツ

- ① 思いつき
- ② よそ者を入れる
- ③ 奇抜さ



インテリジェント・イノベーション：「高齢者が活躍する地域づくり」～社会の課題解決に向けて～

住民参加型から行政参加型の地域づくり 谷川 良一 氏

NPO 法人グラウンドワーク西神楽理事

＜グラウンドワーク西神楽＞

西神楽地域の未来を託す子供たちに誇れる未来ある「ふるさと」を作り上げることが目的

- ・地域の住民がグラウンドワークの手法の学習などを経て平成6年12月に「西神楽地域づくり研究会準備会」を発足
- ・阪神淡路大震災をきっかけに活動が本格化
- ・会員：126名（地元6割）
- ・7つの専門委員会

高齢者が活躍するポイント

- ・収入がある
- ・知恵を生かす支援者がいる
- ・自分のしたいことが発見できたとき
- ・企業や大学と連携する

- ・西神楽さと川パークゴルフ場運営管理
- ・買い物・通院サービス
- ・生活支援互助会
- ・冬季集住・二地域居住環境推進モデル事業

活動のポイント

- ・自分たちのお金をつくる→ファンド準備
- ・自分たちだけではできない→行政との連携
- ・自分たちの決定権、自治権を取り戻していく

今後に向けて

- ・自分が主宰するパソコン教室を継続させていきたい（榎本氏）
- ・地域マネジメント法人、コミュニティ創生ファンドをつかって地元の子供たちの支援、子育て世代の支援、起業してくれる人の支援に挑戦したい（谷川氏）

榎本 聡子 氏

道民カレッジマイスター

闘病生活を送っていた平成18年に「道民カレッジ」に入学。

高齢者が学ぶ意義

- ・学ぶ楽しさや仲間との出会いが生きがいや健康維持につながる
- ・学び続けることでICTなど現代的な知識を得ることができる
- ・学習サークルやボランティア活動につなげられる

高齢者の活躍で大切なこと

- ・恩恵を受けるだけでなく自分たちで学びを創っていくことが大切
- ・学んだことを社会に還元していく



ワークショップ：「学んだ成果を活用する仕組みの構築」～高齢者によるコミュニティ・ビジネスの実践～



高齢者の活躍の場をつくっていく

石塚 雅明 氏

(株)石塚計画デザイン事務所

代表取締役



コミュニティ・ビジネスの種を探そう

地域の資源が、地域や現代社会が抱える切実な課題に応えるサービスや商品になったときにビジネスが生まれる

WS①

- ・自己紹介（自分の趣味や特技）
- ・地域のお年寄りの知識、能力、技術を書き出す
- ・「ヒト資源」と「地域の切実な課題」又は「都市（住民・企業）や現代社会の切実な課題」を結びつけてビジネスを考える
- ・「ヒト資源」に書かれたものと「地域に眠っているモノ・コト資源」を組み合わせて「切実な課題」の解決につながるビジネスヒントカードを作る
- ・各グループで考えたビジネスを共有

①例

地域に眠っているヒト資源

- ・料理ができるヒト
- ・車の運転ができるヒト
- ・栄養管理ができるヒト

+

地域に眠っているモノ・コト資源

- ・廃校（拠点）
- ・デイサービス利用者（居場所）
- ・地元産の規格外食材（無農薬）

①例

地域の切実な課題

- ・町内会の機能不全
- ・独り暮らし（居場所）
- ・高齢者の健康不安

又は

都市（住民・企業）や現代社会の切実な課題

- ・孤独死
- ・地域のコミュニケーション不足

WS②

- ・「ビジネスヒントカード」から有望そうなアイデアをグループで選ぶ
- ・どんなサービスや商品を作り出すか具体的に書き出す
- ・各グループで考えたビジネスアイデアを共有

WS③

- ・ビジネスアイデアをもとにビジネスモデルづくりにチャレンジ
- ・各グループで考えたビジネスアイデアを共有

- ・「やっている自分が楽しい」ことが、コミュニティ・ビジネスの基本
- ・「地域に眠っている資源」と「地域の切実な課題」or「都市や現代社会の切実な課題」が結びついたときにビジネスが発生する
- ・「提供するモノ」があり、それを「欲しがる人」がいる関係がきちんと成り立ってビジネスになる
- ・何か地域に眠っているのか→「ヒト資源」「モノ・コト資源」を探す
- ・切実な課題に手をさし伸べるときに、地域に眠っている資源を活用できれば、お金が流通しビジネスが発生する
- ・これらのことを見極め、関係をどう作っていくかというのがコミュニティ・ビジネスの基本になる



● 本研修会事業報告書について ●

「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報」(<https://manabi.pref.hokkaido.jp/>) 並びに「平成 28 年度主催講座一覧」(<https://manabi.pref.hokkaido.jp/center/works/course>) に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、道立生涯学習推進センター ☎ 011-231-4111（内線 36-329）まで御連絡ください。



◎研修のご案内◎

地域生涯学習活動実践交流セミナー 2月16日（木）～17日（金） かでの2・7

本道における生涯学習活動の一層の推進を図るため、実践事例の交流等を通し、北海道における生涯学習推進上の課題解決を図ります。